



イーレックス株式会社

第24期 定時株主総会資料

2022年6月24日



エネルギー業界

化石燃料高騰



ウクライナ侵攻



円安進行



国家的
課題

脱炭素化の中で生じた調達コストの高騰

エネルギーの安定供給確保

電力業界

再生可能エネルギー導入への
世界的な関心の高まり



電力市場価格高騰



従来のビジネスモデルが通用しない状況

2021年度の取り組み



エバーグリーンを中心とした販売体制



エバーグリーン・マーケティング株式会社

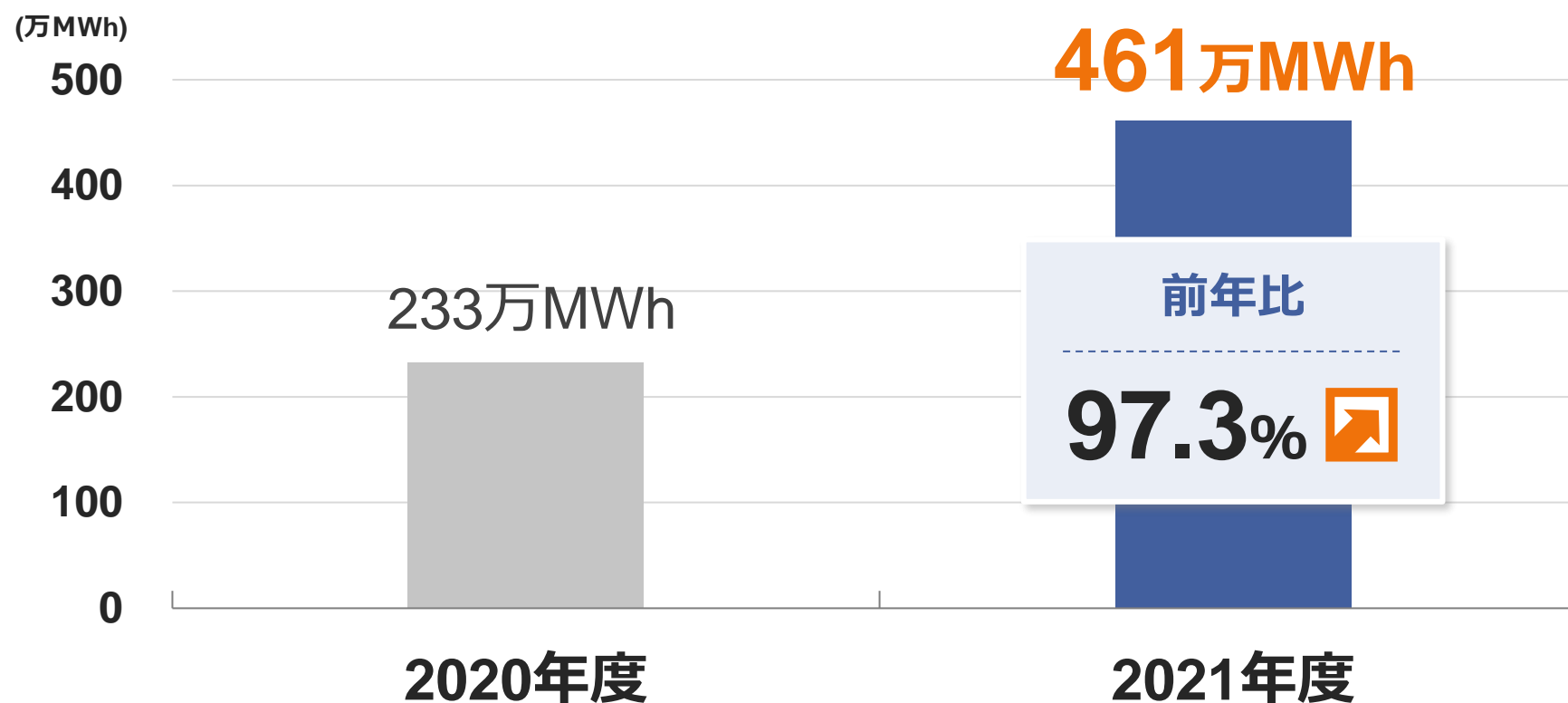
エバーグリーン・リテイリング株式会社



2022年2月にイーセルをグループ会社化

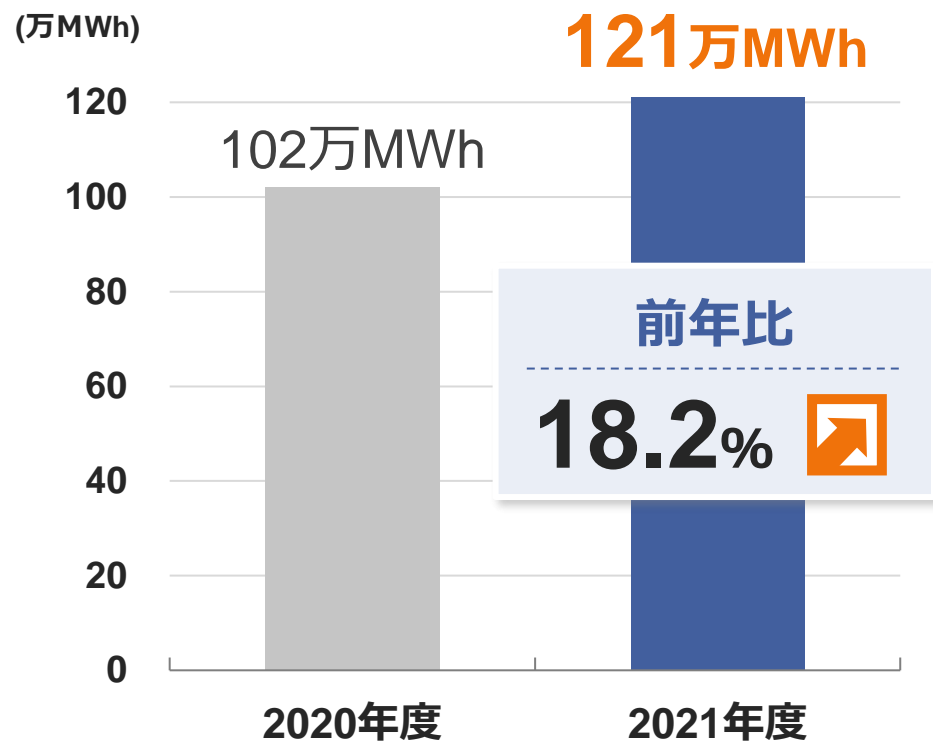
電力小売事業の全国展開を強化

販売電力量は期初計画を達成

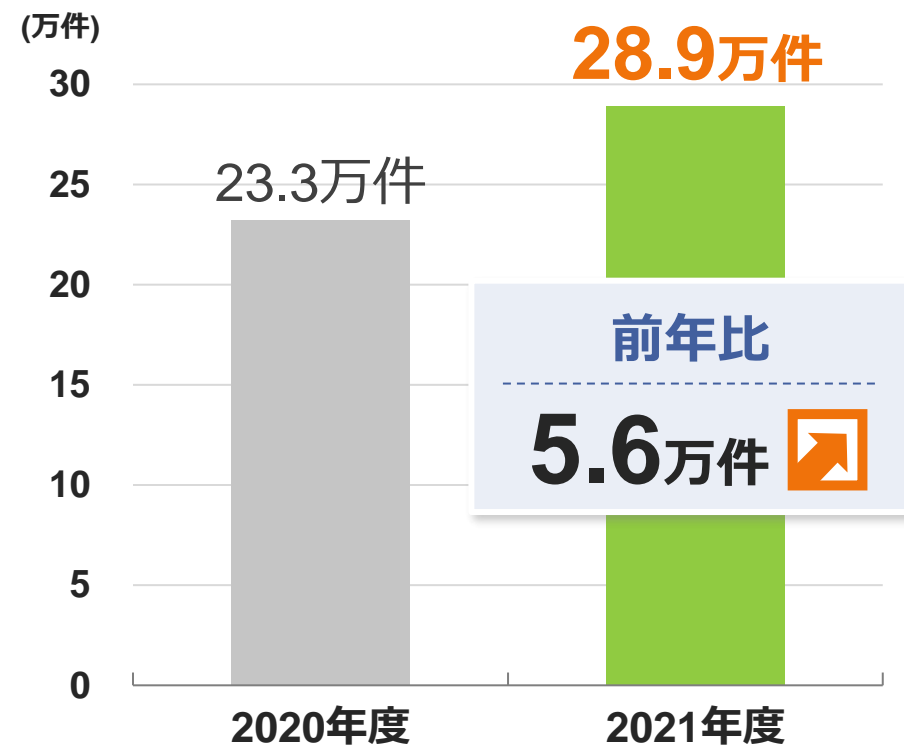


販売価格の適正化も推進

販売電力量



供給施設件数

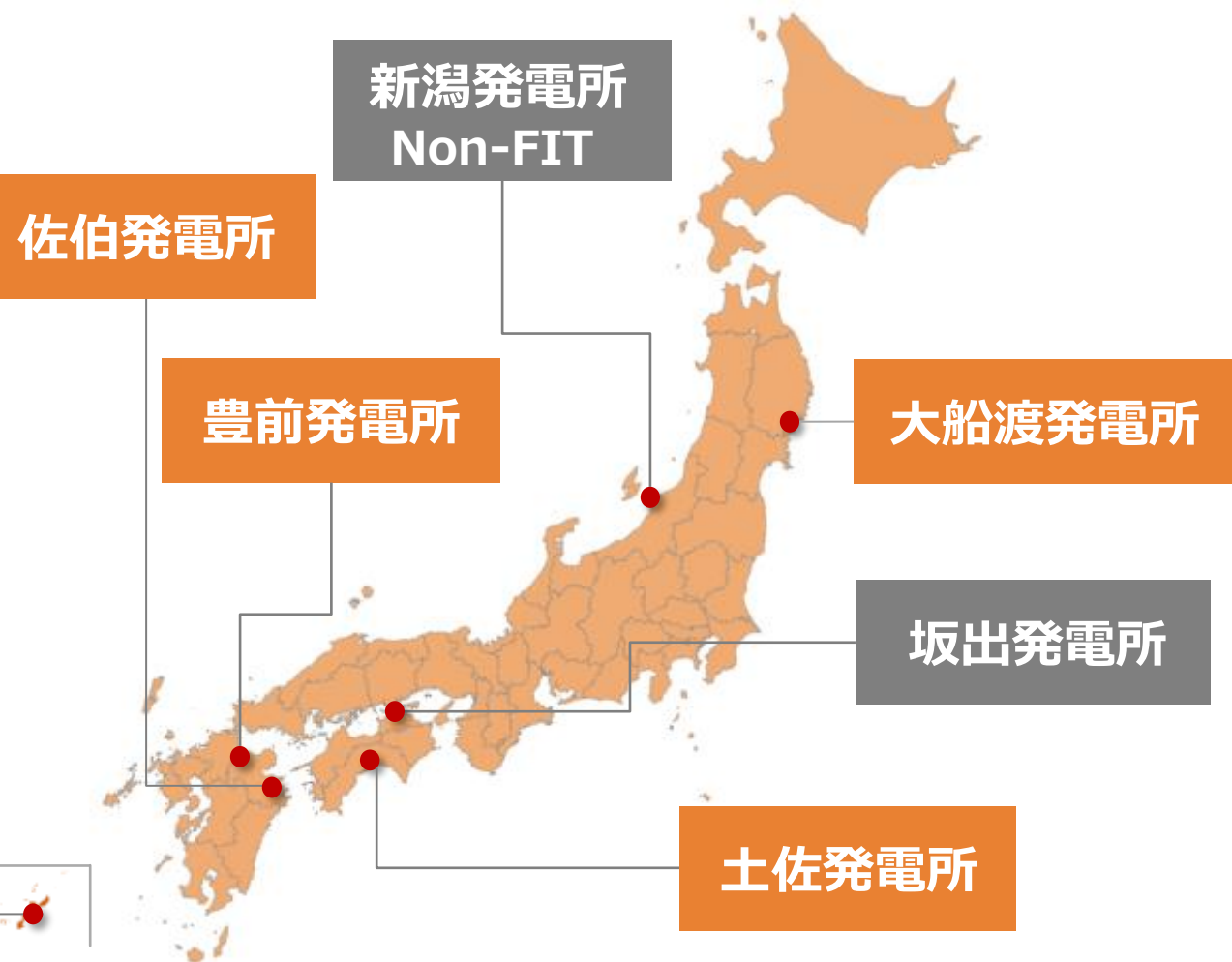


販売電力量、供給施設件数ともに順調に増加

中城発電所



2021年7月に営業運転開始

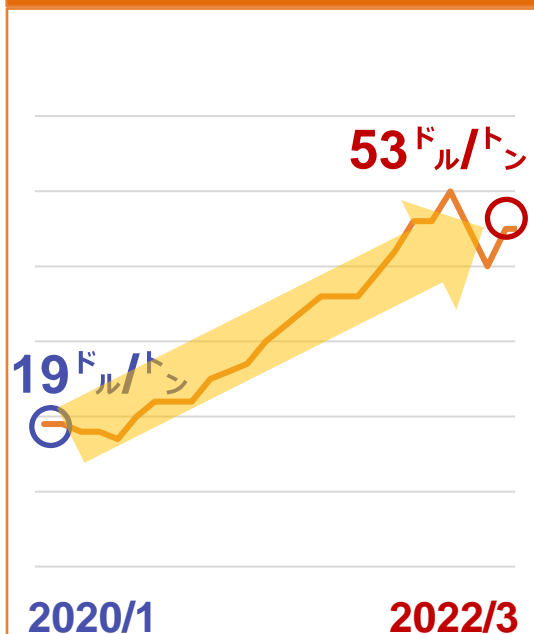


発電所 5 基体制となり収益基盤を安定化

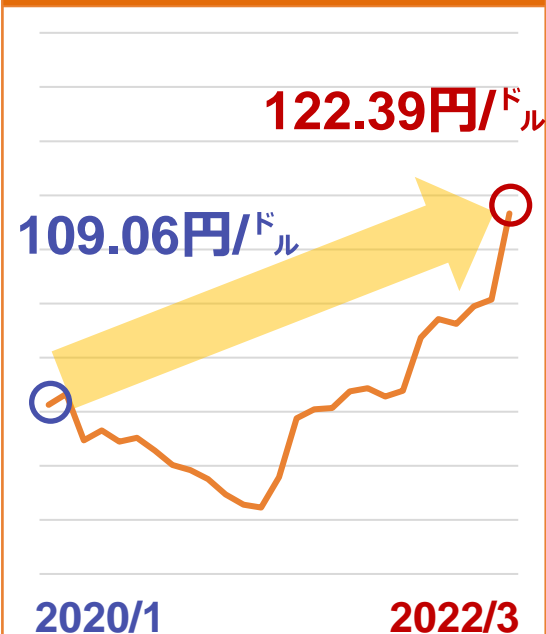
輸送費の高騰に円安が拍車

対策

海運市況



為替レート



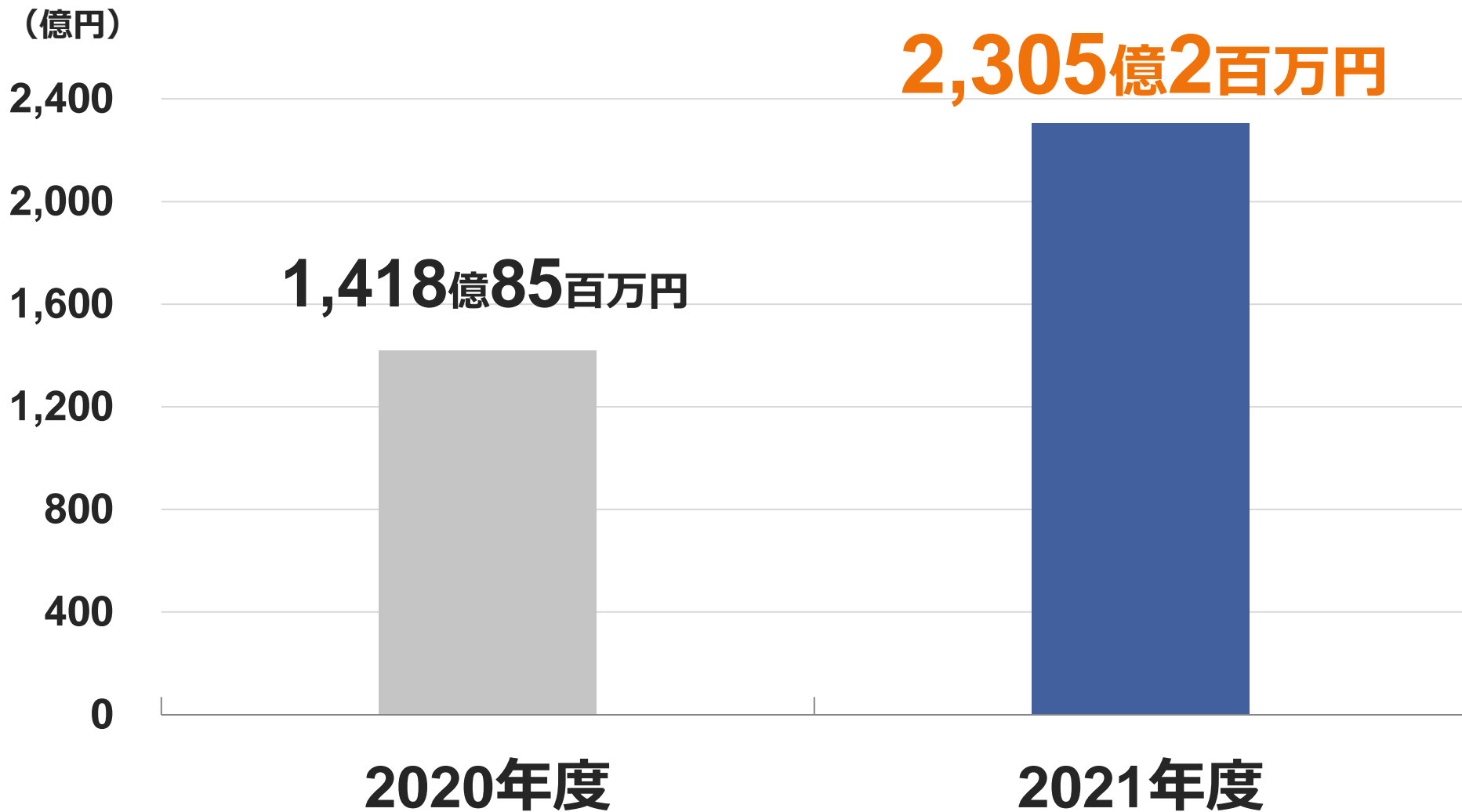
長期/スポット契約の最適化

為替レートの長期固定化

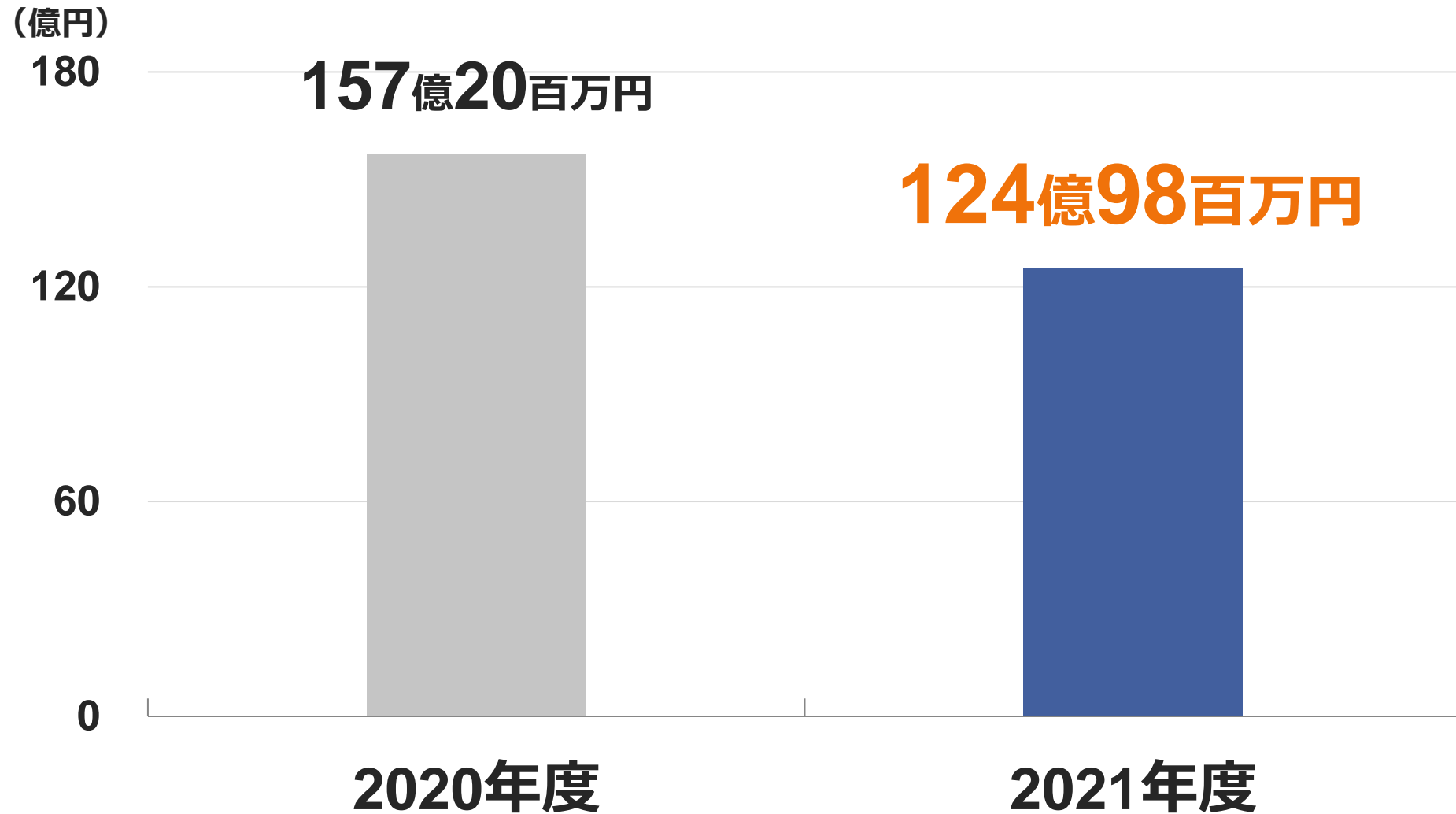
コスト競争力の高い
サプライヤーの拡充

安定した調達・販売体制を構築

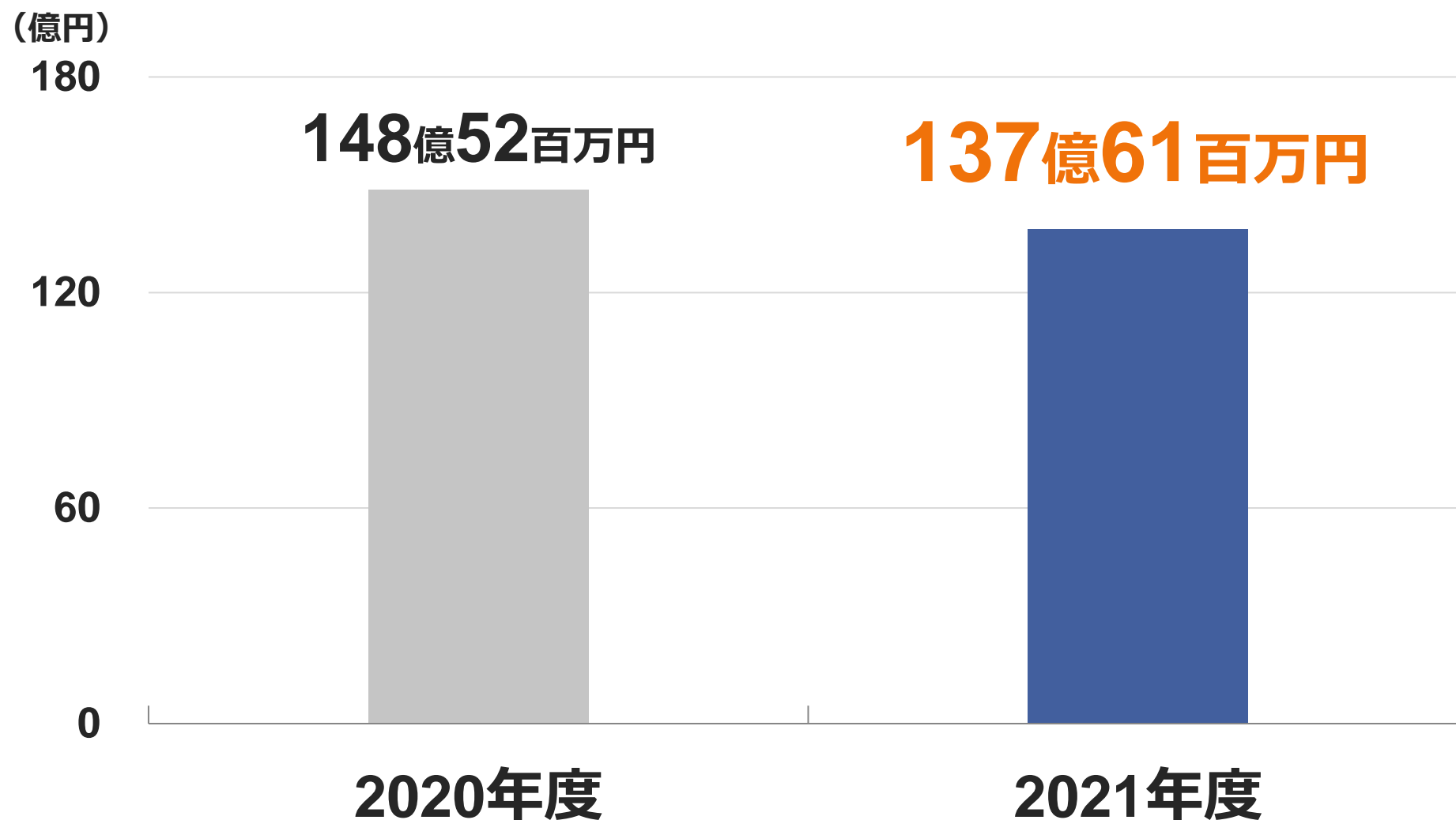
販売電力量の増加等により増収



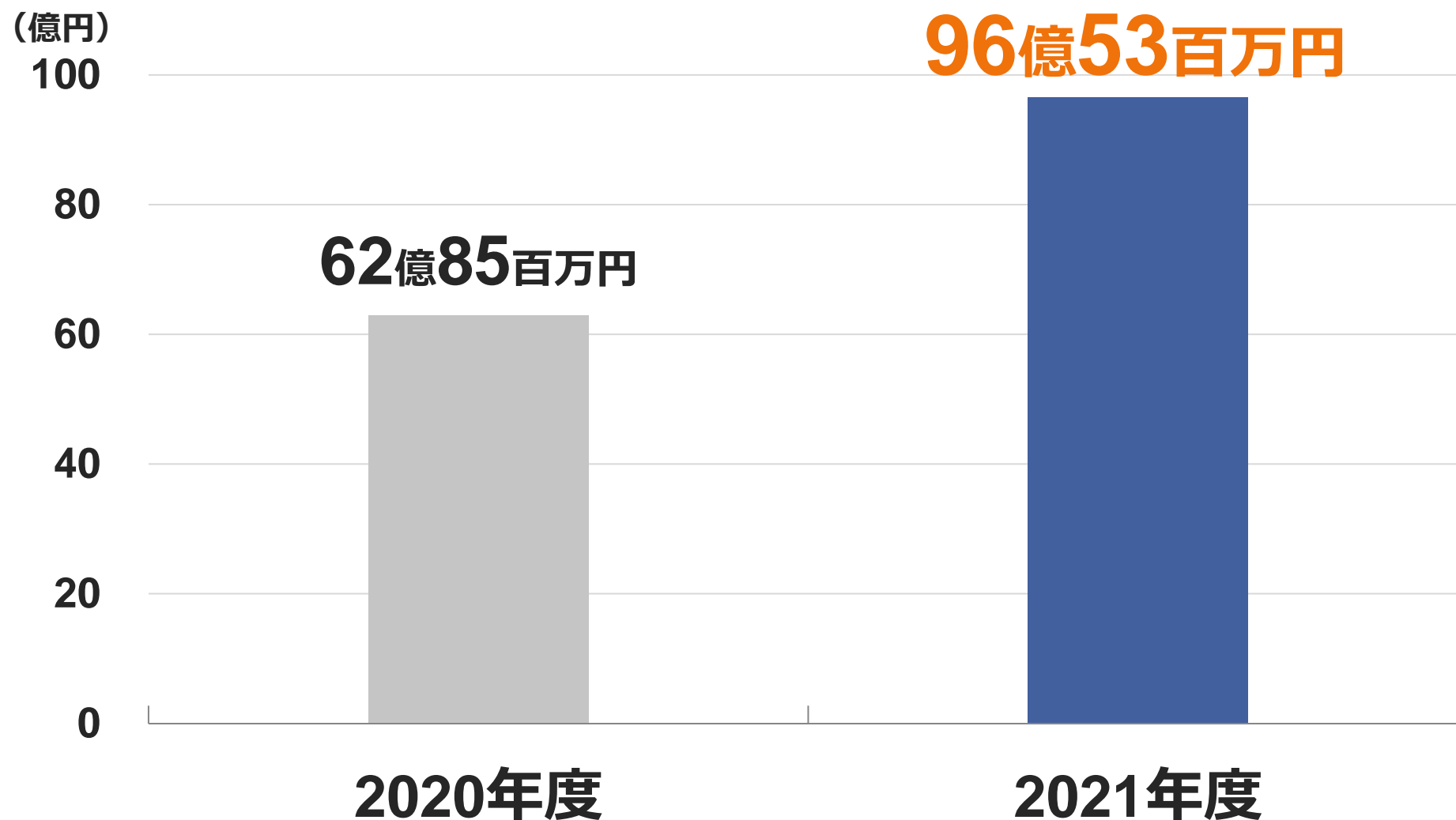
前期比では減益となるものの事業計画は達成



デリバティブ取引の活用等により営業外収益を計上



当社単体の収益向上により増益



連結貸借対照表



資産合計

1,571億59百万円

前年度末比

292億80百万円

流動資産

694億50百万円

前年度末比

144億 1百万円

固定資産

877億 8百万円

前年度末比

148億78百万円

負債合計

903億38百万円

前年度末比

169億56百万円

流動負債

429億55百万円

前年度末比

129億91百万円

固定負債

473億82百万円

前年度末比

39億65百万円

純資産合計

668億20百万円

前年度末比

123億24百万円



連結損益計算書



売上高	2,305億 2百万円	前年比 62.5% 
営業利益	124億98百万円	前年比 20.5% 
経常利益	137億61百万円	前年比 7.4% 
親会社株主に帰属する 当期純利益	96億53百万円	前年比 53.6% 

販売電力量は増加し、期初計画を達成

発電所5基体制となり収益安定化

デリバティブ取引の一層の活用による
収益貢献

石炭火カトランジション・
実証型水素発電所計画の進展

ベトナムでバイオマス燃料・発電事業に着手

売上高・最終利益
ともに過去最高を達成

来期以降に向けた
国内外の開発準備・
展開は順調



中期経営計画 (2022~2024年度)



国家的 課題

脱炭素化推進とエネルギー安定供給の両立

中計基本 コンセプト

- ① コスト競争力に優れた自社供給力の確保
- ② 価格優位性のあるバイオマス燃料の開発
- ③ 成長ドライバーとしての海外展開

脱炭素に向けた新たなイノベーションを起こす

既存事業の着実な強化

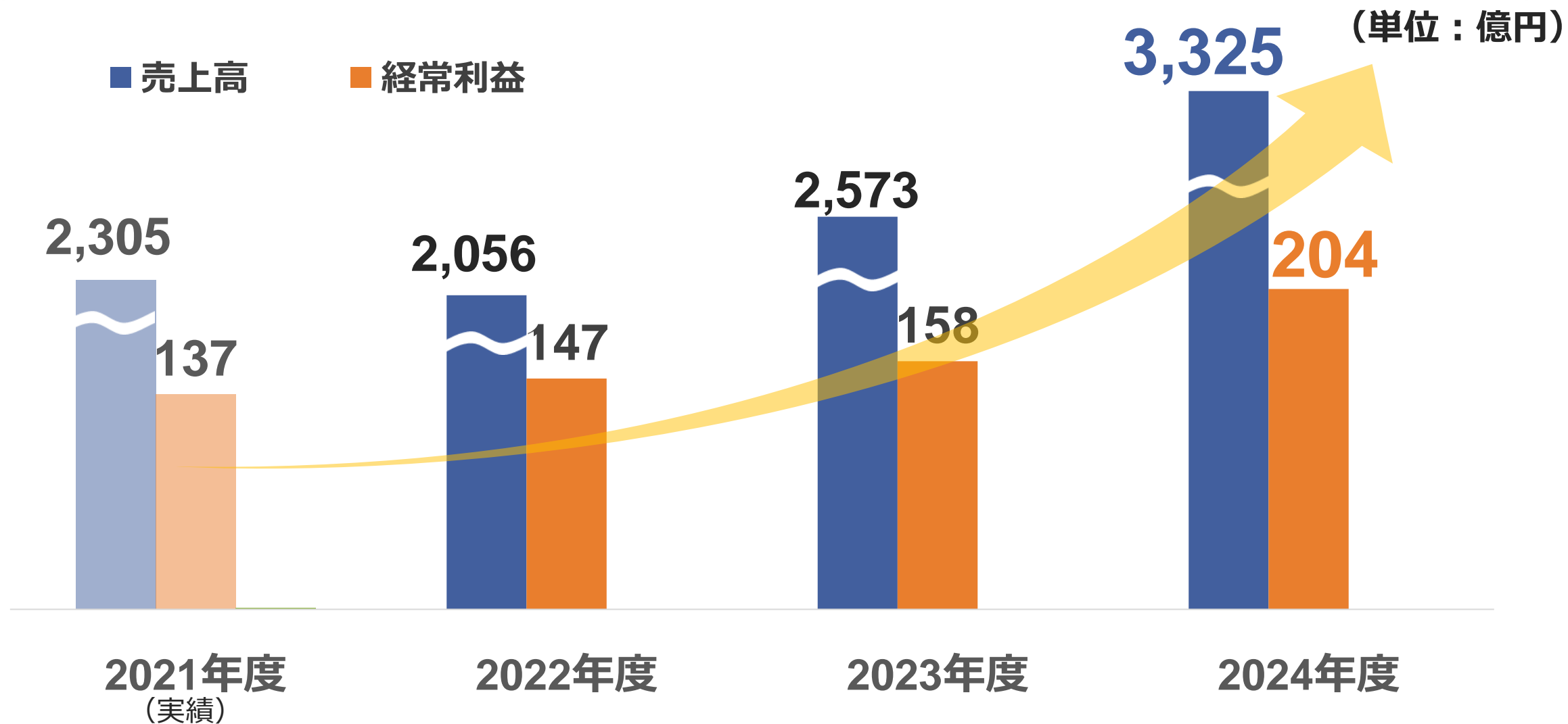
- **電力小売** 価格/販売量の適正化
- 自社供給と**トレーディング**を活用した調達最適化
- 価格競争力のある**燃料調達**
- **発電**設備の安定稼働と効率的運営

新たな事業領域に果敢に挑戦

- 新燃料開発 ベトナム
- 国内外の石炭火力をバイオマス発電へ転換 日本 ベトナム
- 海外での発電事業 ベトナム カンボジア
- 水素事業の実証・収益化 日本

脱炭素と安定供給を基軸に、強固な経営基盤を構築

収益性をより強化し、安定的かつ継続的な成長を目指す

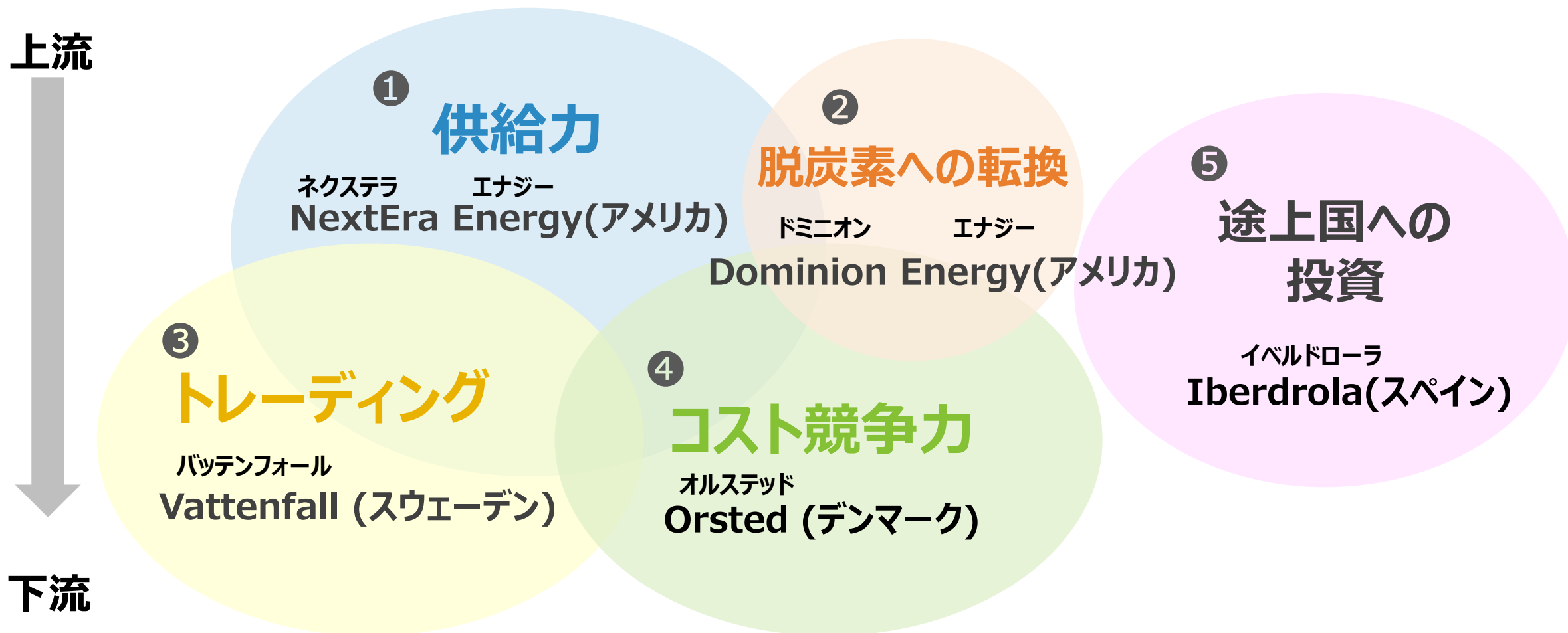




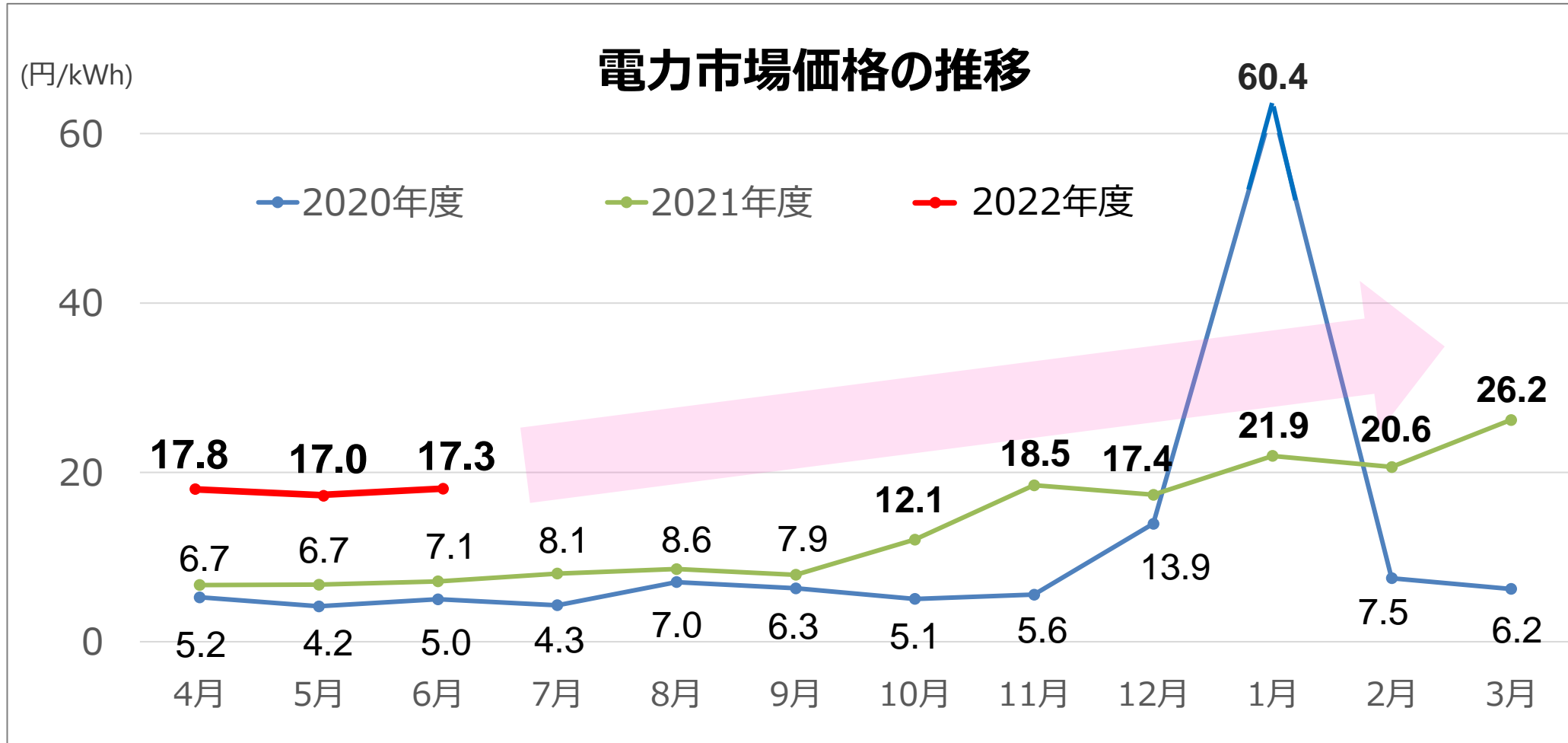
經營戰略



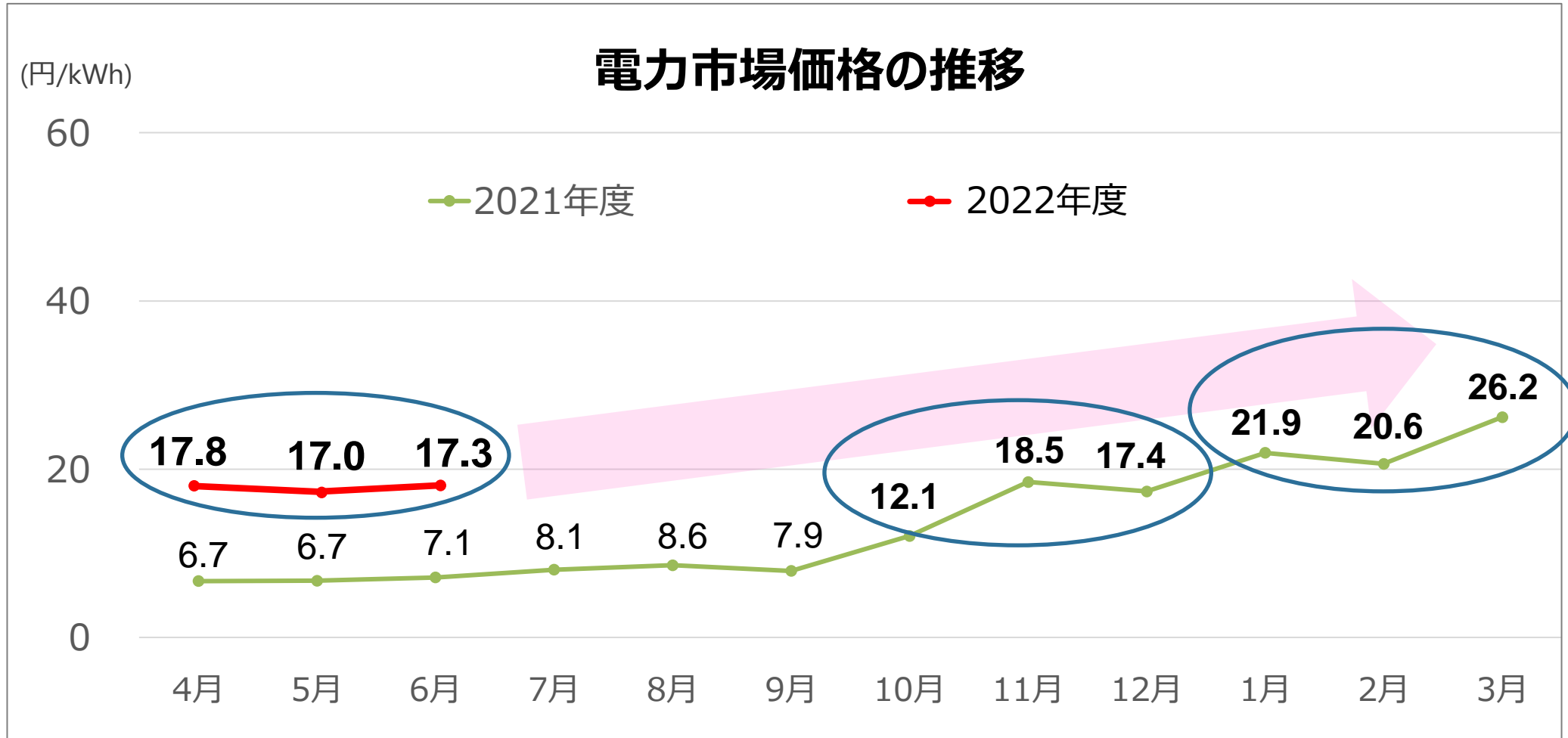
海外の先進的な電力会社を参考にして事業を推進



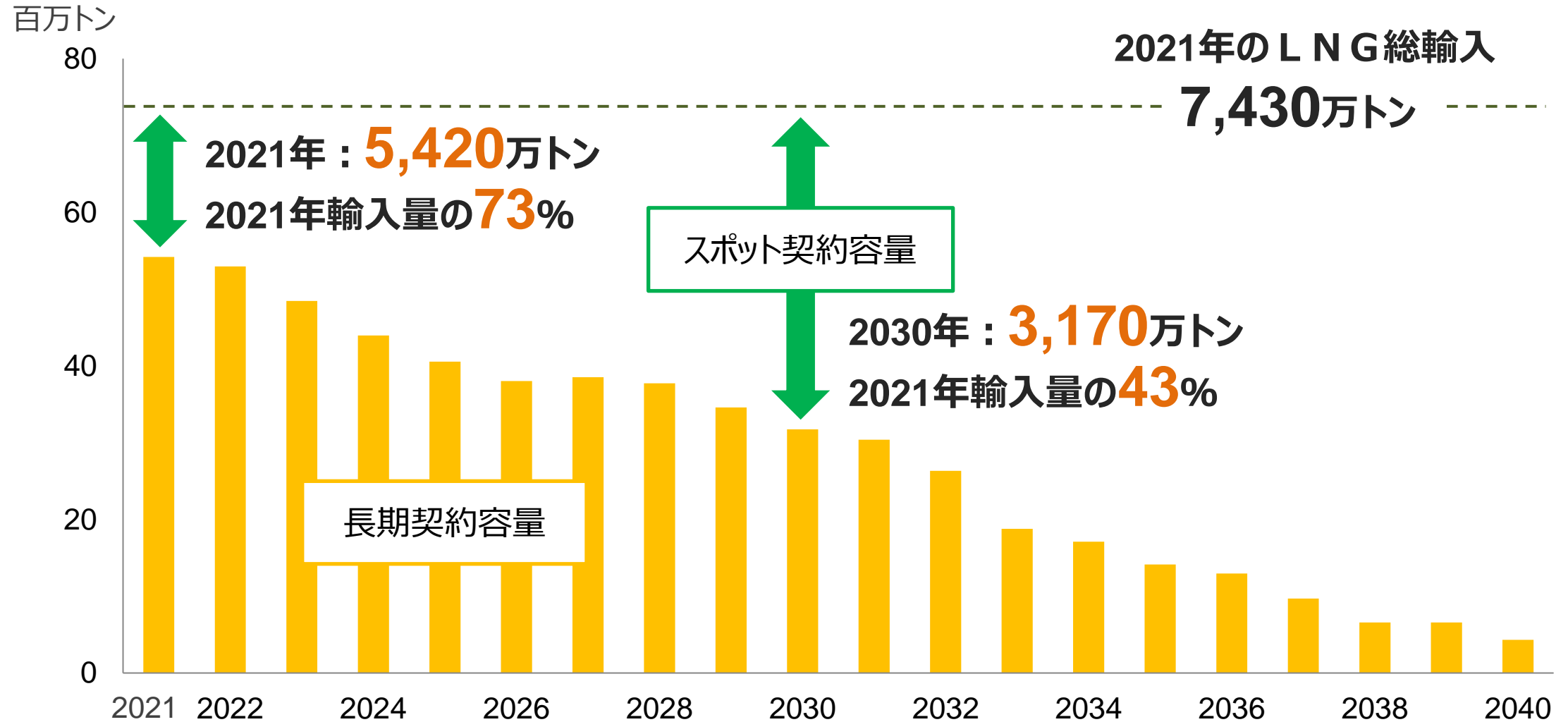
電力市場価格の高騰は常態化すると想定



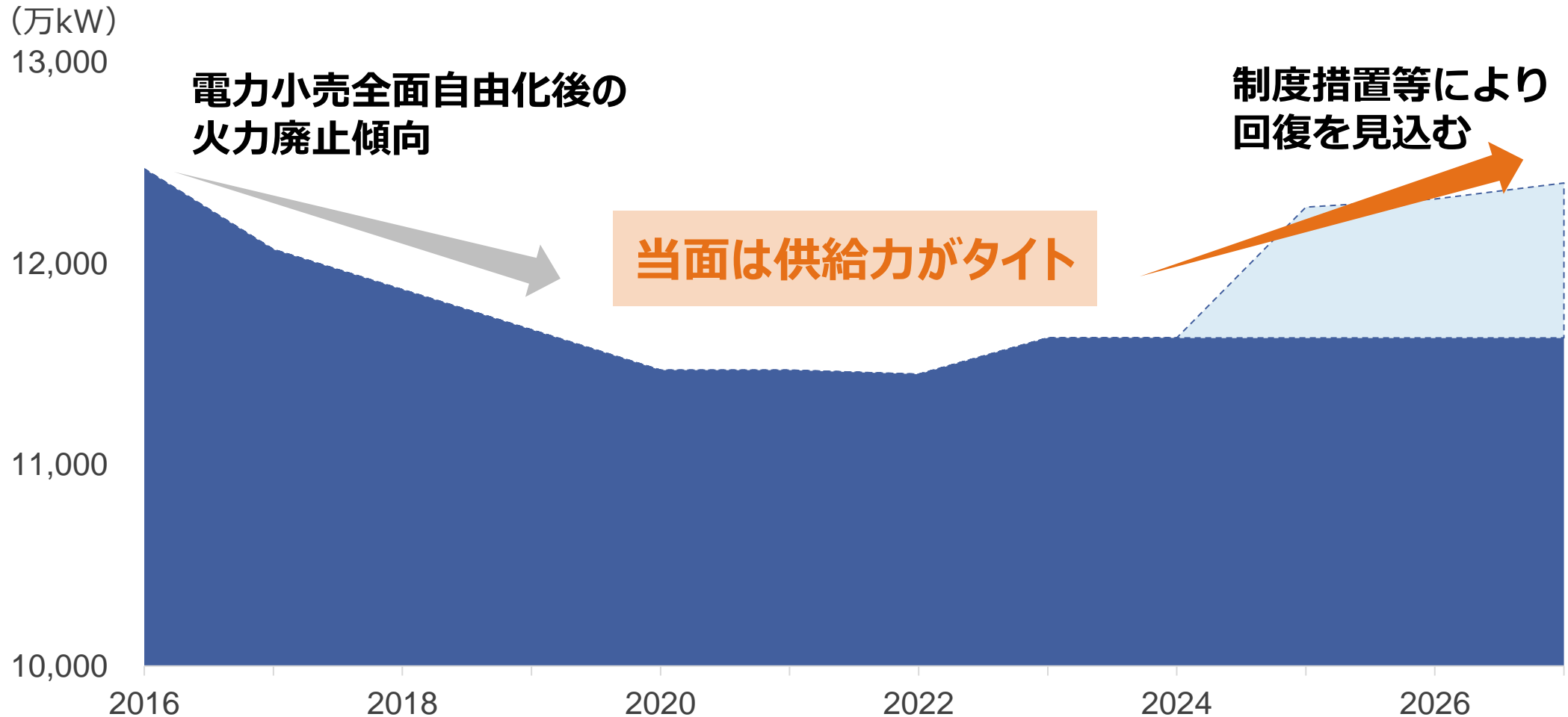
電力市場価格の高騰は常態化すると想定



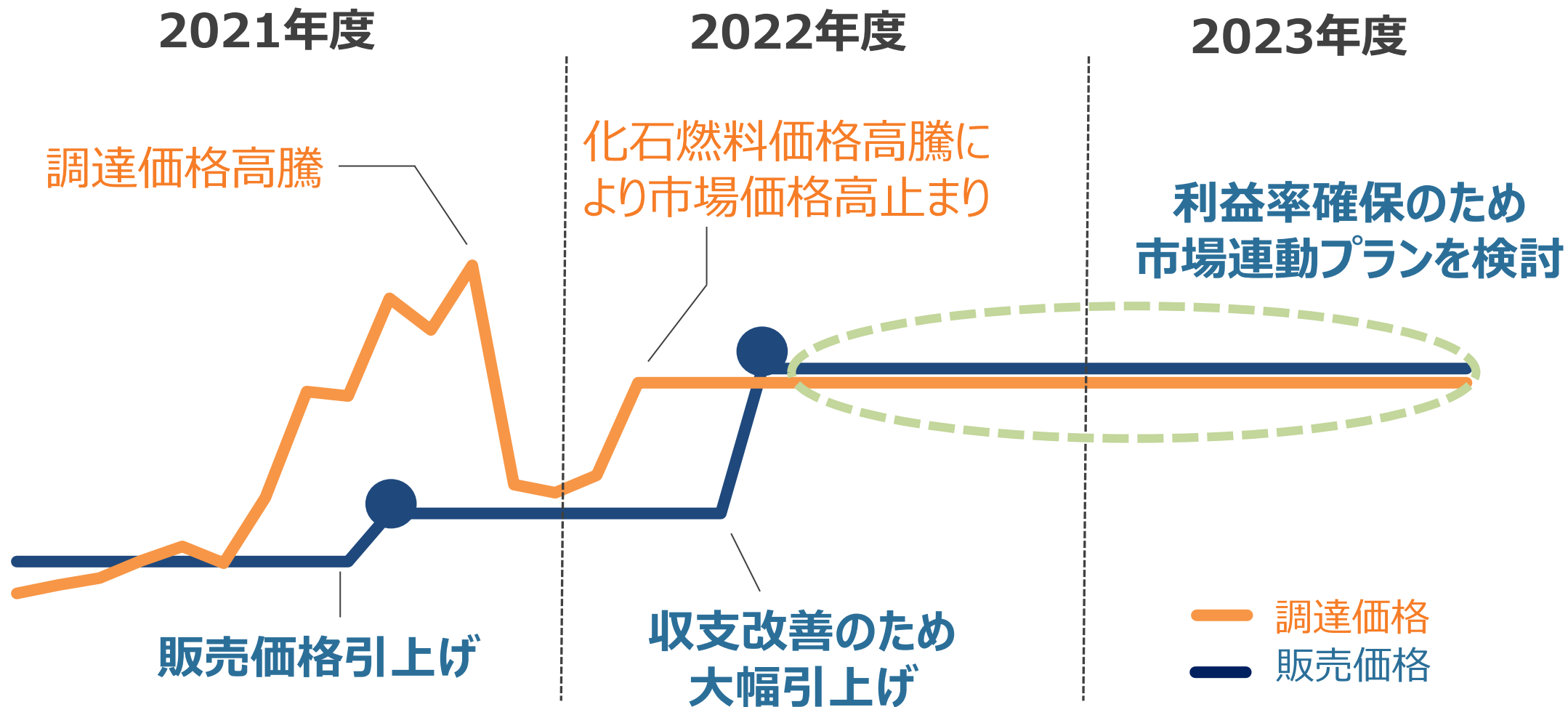
長期契約が減少し、スポット契約が拡大傾向



- 全面自由化後、火力発電供給力は漸減しており、供給力確保が当面の課題
- トランジションによる既存供給力の活用が、現実的な解決策として期待される

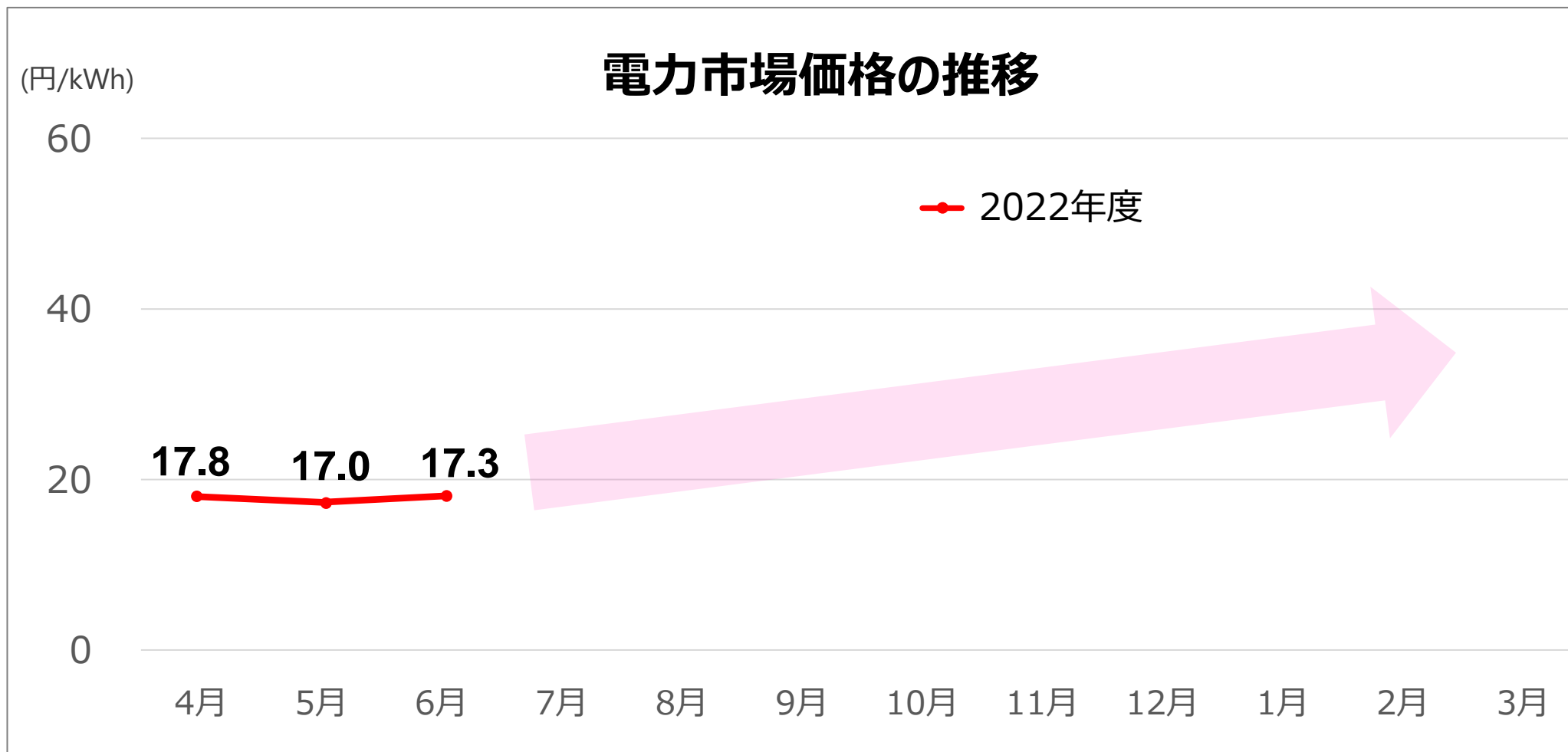


従来以上に販売価格設定が重要



※イメージ図

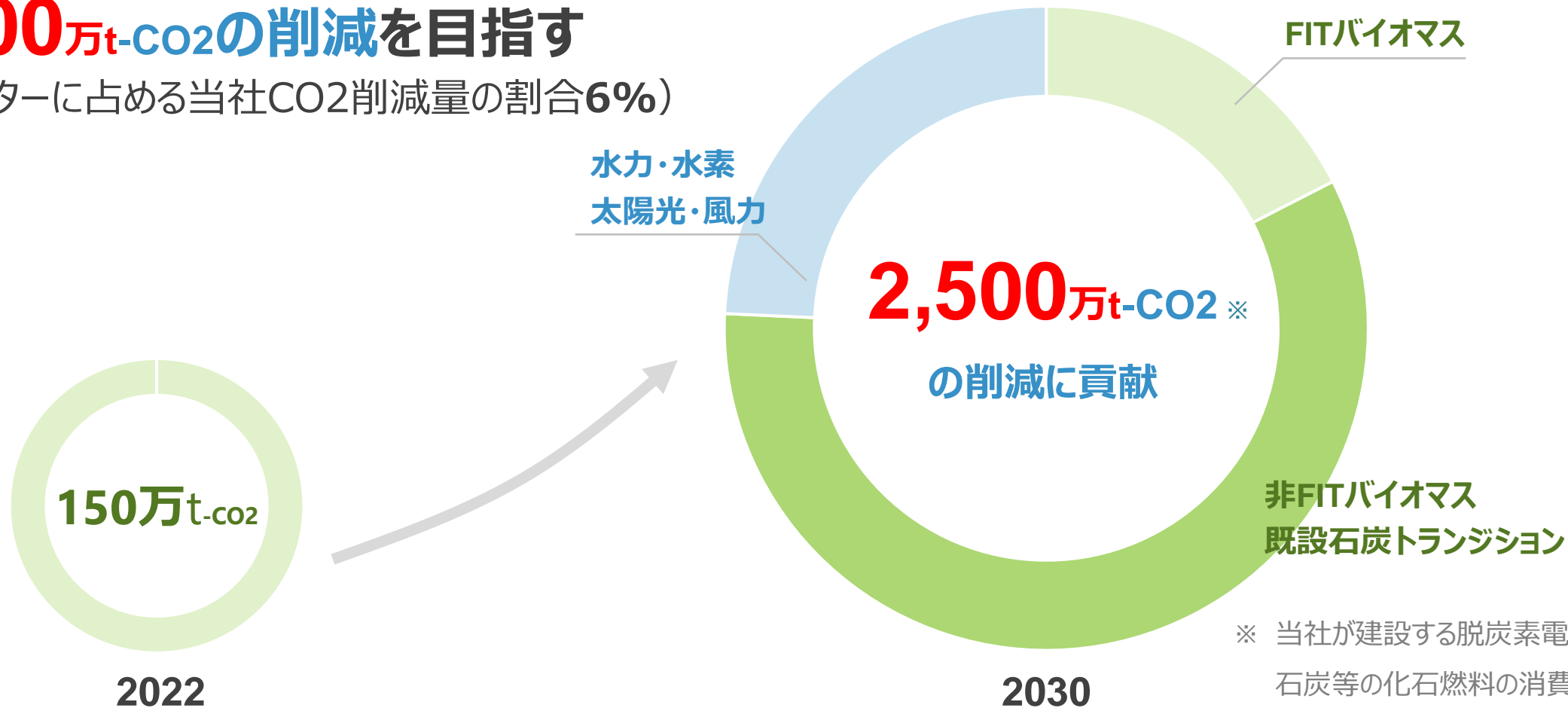
電力市場価格の高騰は常態化すると想定



バイオマスを中心に脱炭素電源開発を加速

2,500万t-CO₂の削減を目指す

(電力セクターに占める当社CO₂削減量の割合6%)



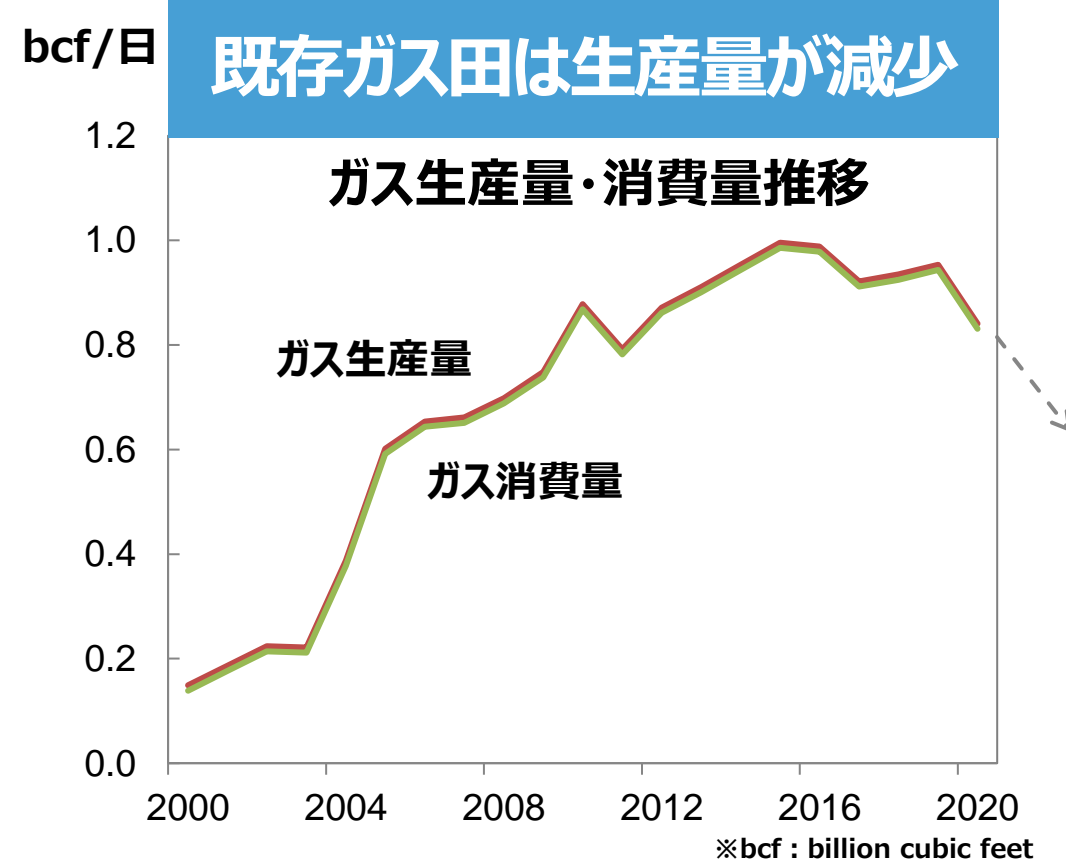
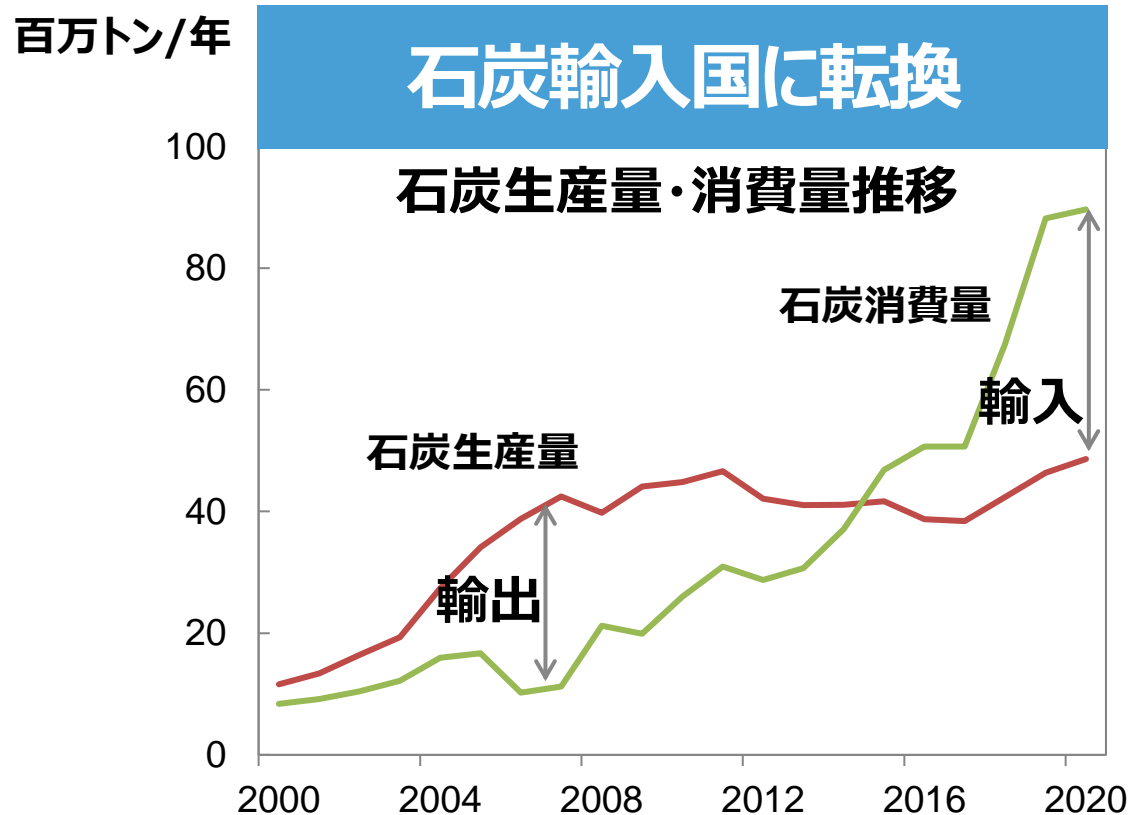
※ 当社が建設する脱炭素電源により石炭等の化石燃料の消費が抑制される効果をCO₂換算したもの



ベトナム バイオマスビジネス



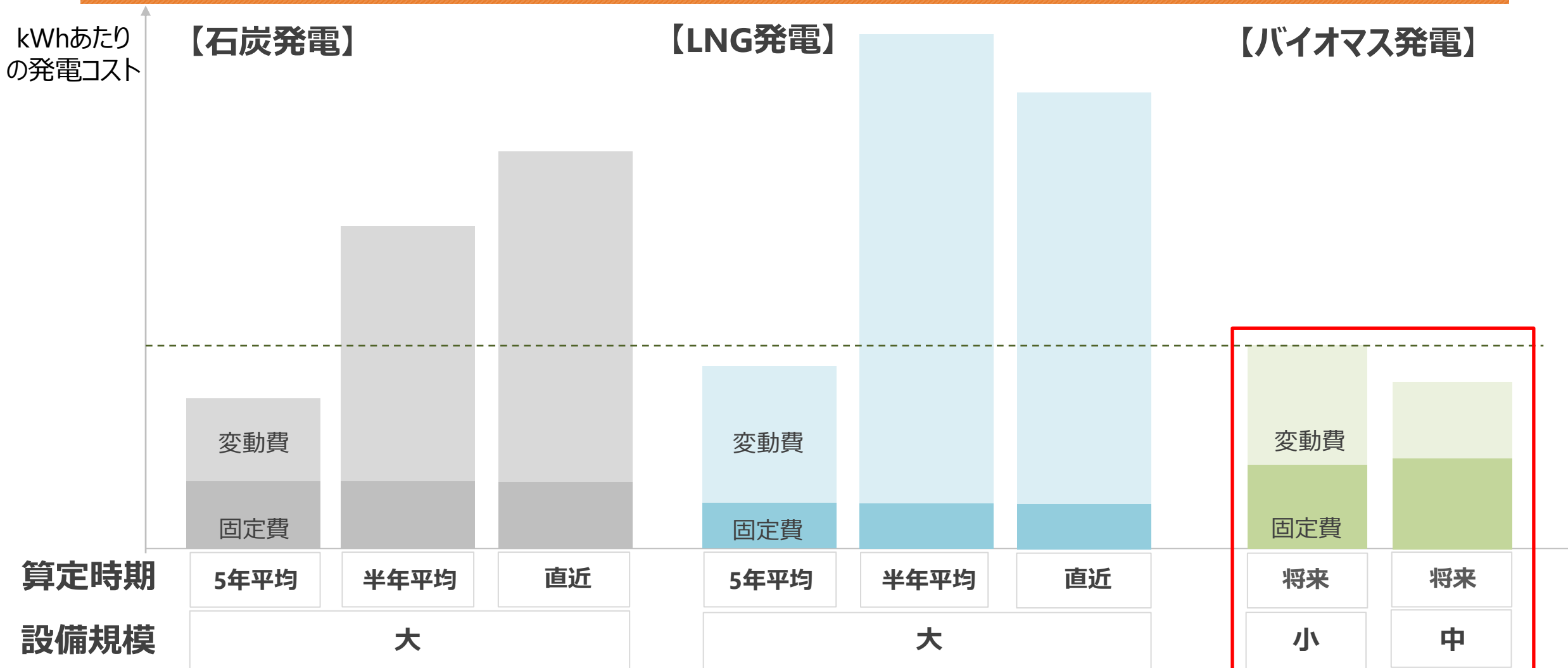
国産燃料（石炭・ガス）の不足に直面



経済成長に伴うエネルギーの安定供給が課題

1-2 バイオマスビジネスのコスト優位性

バイオマス発電の導入が合理的



注：一定の前提を置いた当社試算

安定電源

バイオマス発電は、天候に左右されることのない**安定電源**

ベトナム国内で豊富なバイオマスを基に新燃料を開発することから**エネルギー自給率が向上**、かつエネルギーコストを下げることが可能

脱炭素

ベトナムは**国家政策で脱炭素を強力に推進**することを表明

太陽光がこれ以上増強できない中、今後の社会において、**ベトナムにとってバイオマスが最適な資源**であると認識

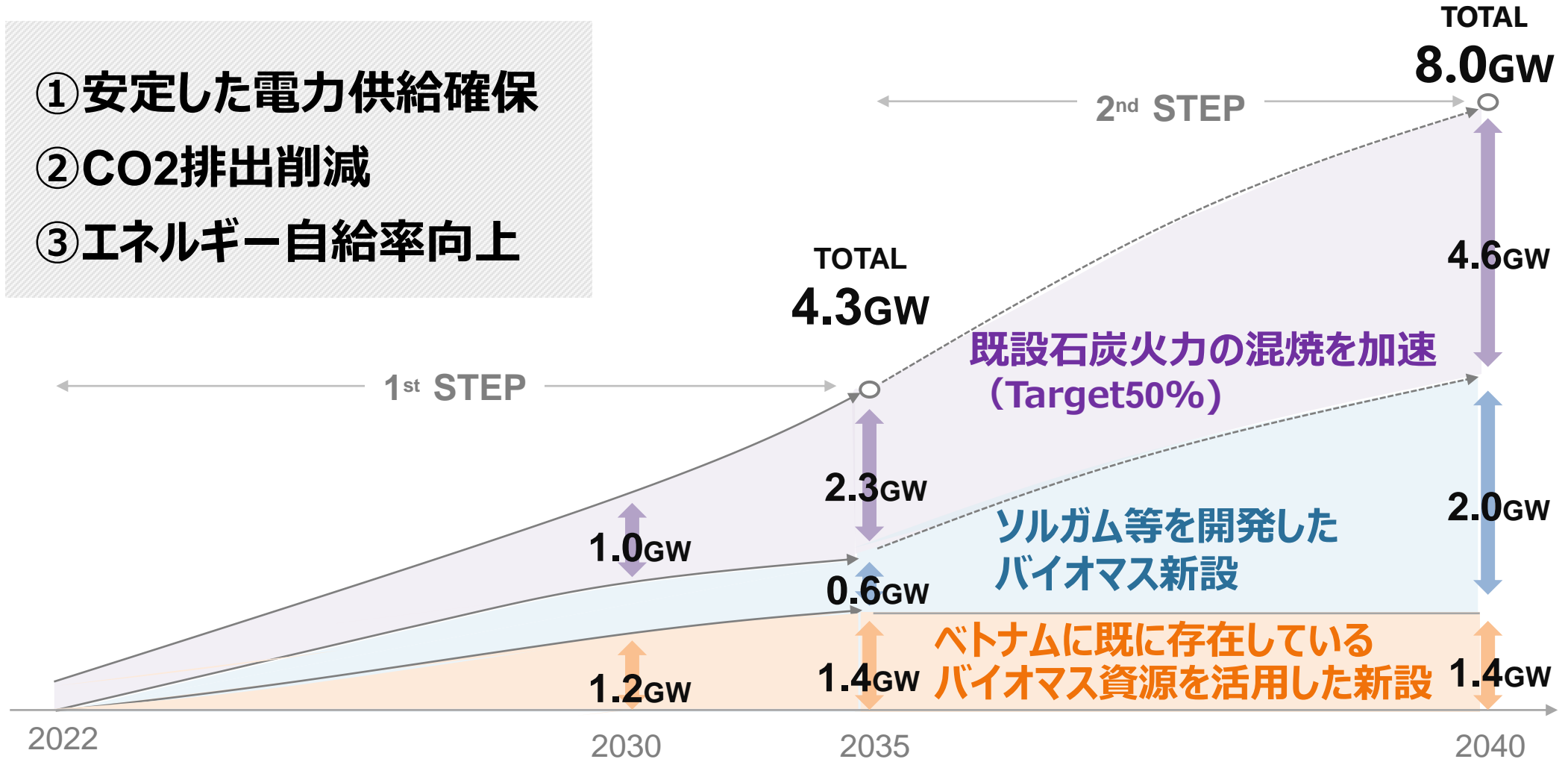
雇用貢献

バイオマス燃料の生産により**雇用が大幅に拡大**

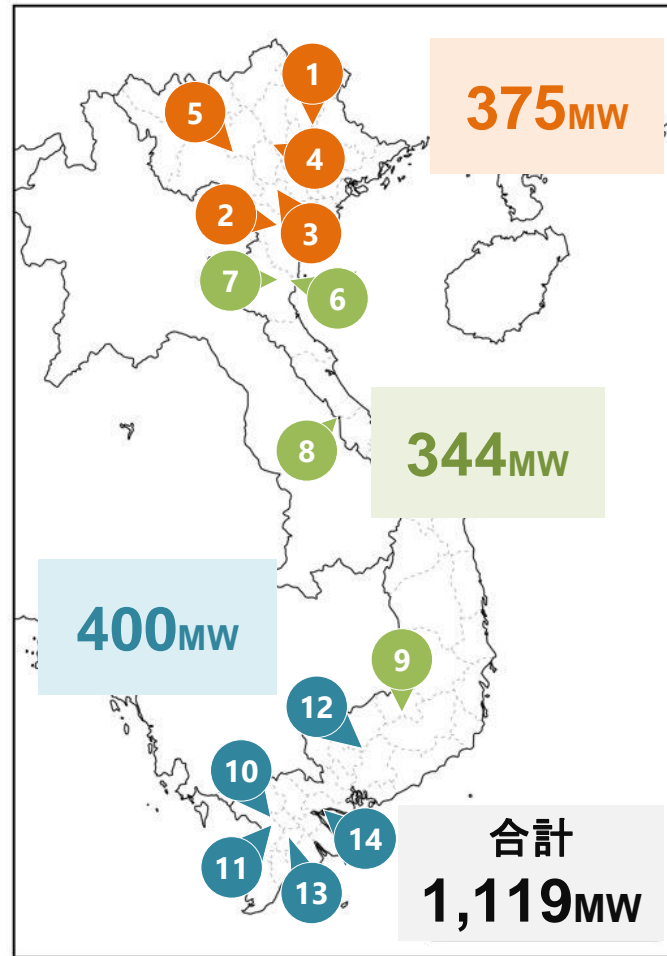
さらに従事者の賃金が向上し、発電・燃料集積及び運搬等、**事業領域が大幅に拡大**

長期的視点で地産地消型バイオマス事業に積極投資

- ① 安定した電力供給確保
- ② CO2排出削減
- ③ エネルギー自給率向上



バイオマス発電所を新設する高いポテンシャル



北部		375MW			
1	Bac Kan	50MW	4	Tuyen Quang	100MW
2	Hoa Binh	100MW	5	Yen Bai	75MW
3	Phu Tho	50MW			
中部		344MW			
6	Thanh Hoa 1	50MW	8	Quang Binh	109MW
7	Thanh Hoa 2	60MW	9	Dak Lak	125MW
南部		400MW			
10	An Giang 1	75MW	12	Binh Phuoc	50MW
11	An Giang 2	100MW	13	Can Tho	100MW
			14	Long An	75MW

※2022年4月時点 当社調査によるポテンシャル

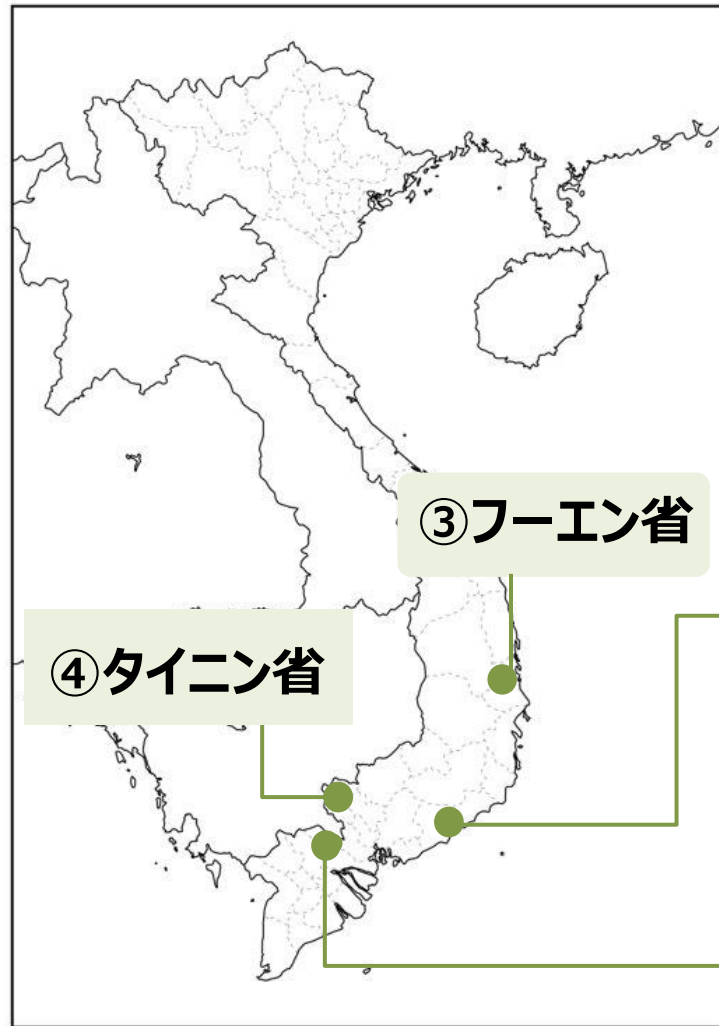
脱炭素推進とエネルギーの安定供給確保の最適解

- バイオマス燃料使用により、エネルギー自給率が向上
- バイオマス発電所への転換は比較的低コストで実行可（脱炭素投資コスト低減）
- バイオマス燃料の混焼推進により、CO2排出量が大幅に低減
- 同国の経済成長に応じた供給力を確保可能

	2022年度	2030年度	2035年度	2040年度
既存石炭火力発電所(CFB※)	4.6GW	3.6GW	2.3GW	—
バイオマス混焼推進による転換	—	1.0GW	2.3GW	4.6GW
CO2排出の削減量	—	610万t	1,400万t	2,800万t
輸入石炭の削減量	—	270万t	620万t	1,240万t

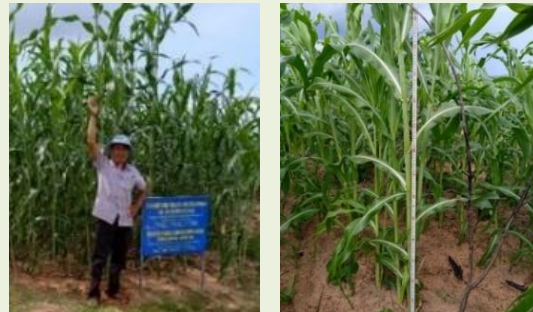
※CFB・・・循環流動層ボイラ。現在、同国における当該ボイラ使用の火力発電所出力は、約4.6GW。

試験栽培が完了した4候補地から順次本格栽培を開始



1. 台風リスクの低い中南部
2. 日本向けの輸出が容易な国際港への良好なアクセス
3. 大規模栽培の用地取得が容易な地域

① ビントゥアン省



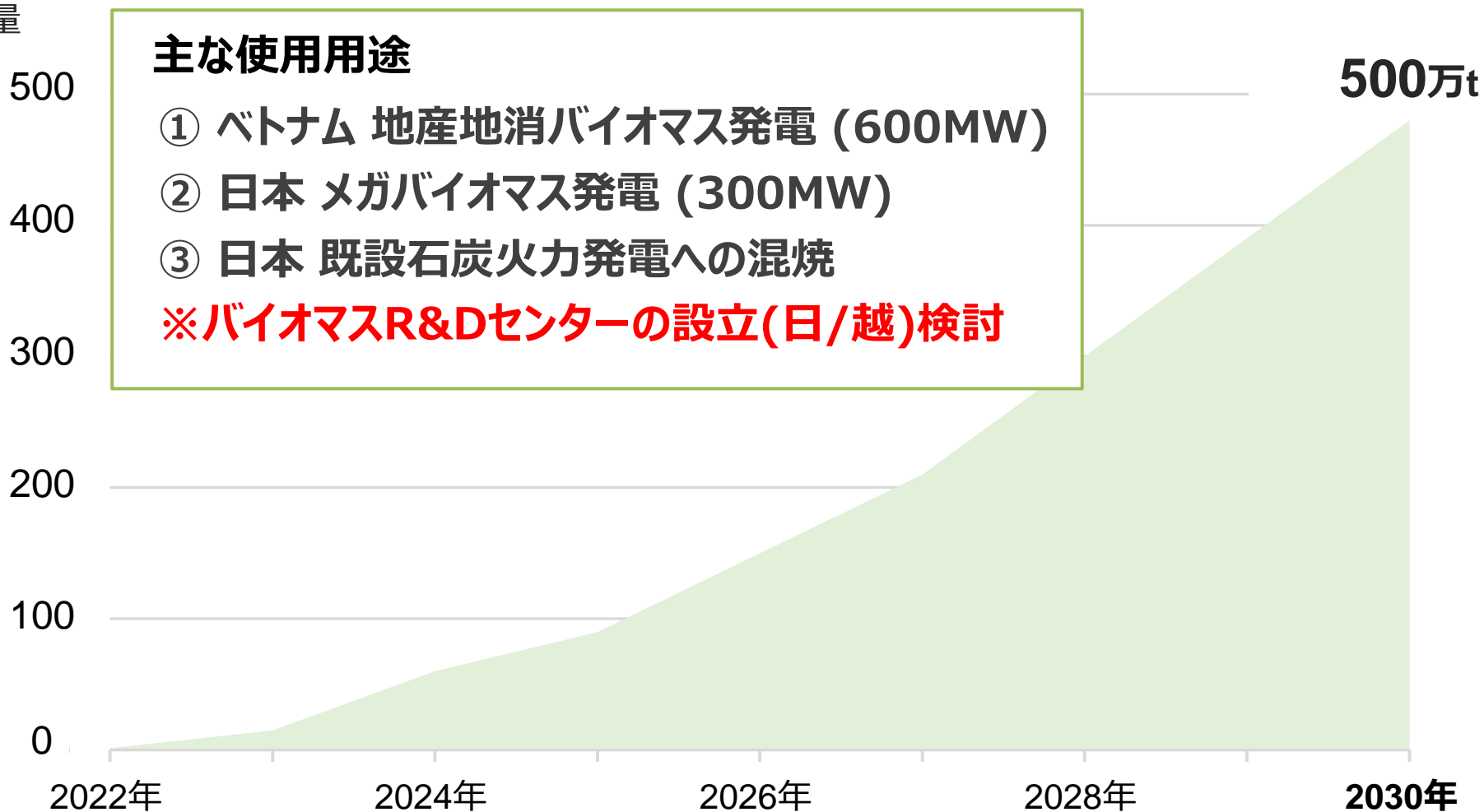
② ロンアン省



2030年までにニューソルガム500万トンの開発を目指す

ソルガムペレット生産量

[万トン/年]

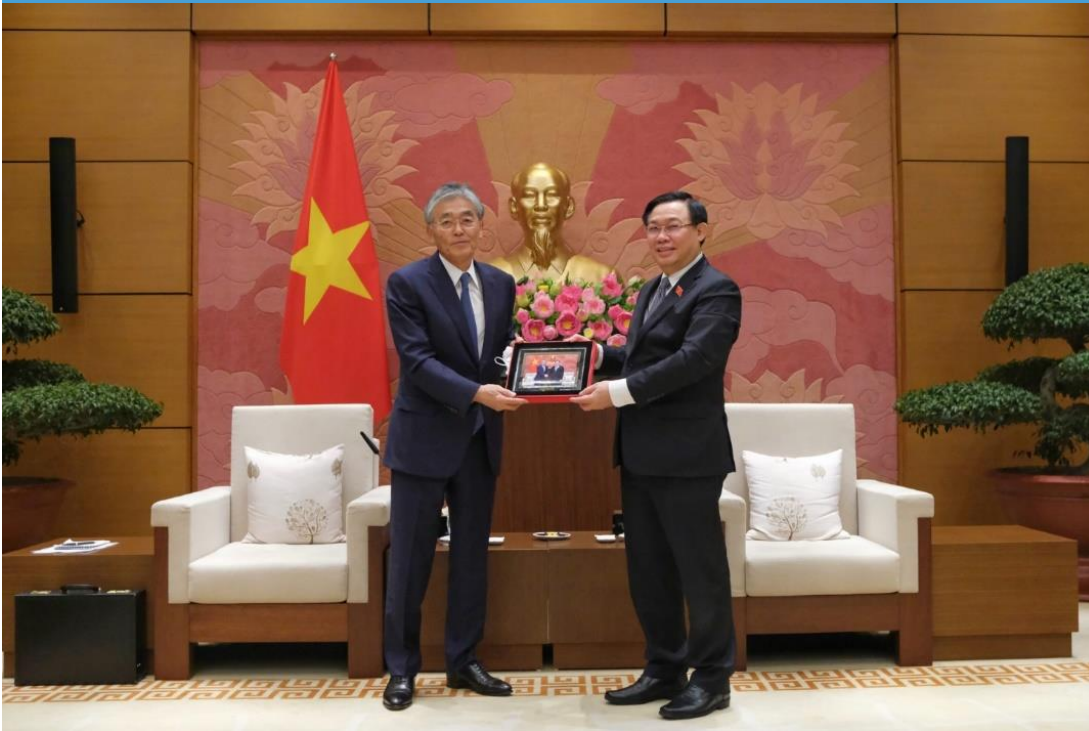


2022年度中の第1号案件実施を目指す

	22年度1Q	22年度2Q	22年度3Q	22年度4Q
① PDP8 (第8次国家電カマスタープラン)				
中央政府での審査・承認	承認の見通し			
投資許可証 (地方省より)		許可書発行★		
② バイオマス発電新設・専焼				
本格フィージビリティスタディ (先行3地点)				
許認可 (アセス・PPA・土地)				承認★
EPC見積実施		概算見積もり	詳細見積	評価★
③ 既設火力発電のバイオマス化・混焼				
ビジネスモデル社内検討				
交渉 ⇒ 合意				
実証試験計画策定				
資本参加・混焼スタート				★最短ケース

ベトナム国家主導者は当社の事業計画を理解・評価

国会議長ヴオン・デイン・フエ氏との会談



副首相レ・バン・タイン氏との会談



erex

ENERGY RESOURCE EXCHANGE